



JR成田駅東口再開発だより



【最終版】

Vol.8（平成28年7月発行）

連絡先：成田市都市部市街地整備課

0476-20-1561

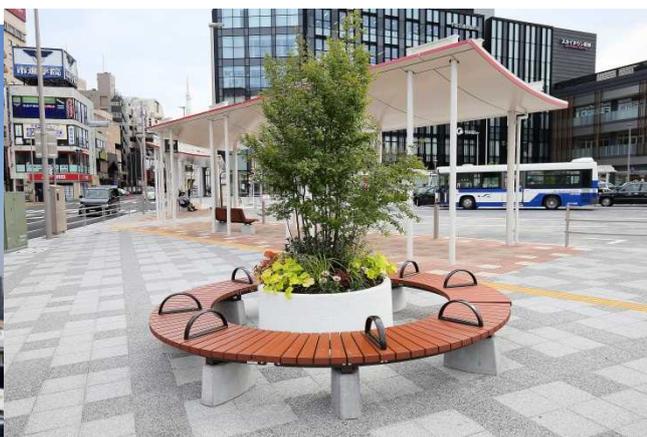
今年も、早くも半分を過ぎようとしています。この度、JR成田駅東口第二種市街地再開発事業が完了し、工事期間中は近隣住民の方をはじめ、駅の利用者の方々にはご不便をおかけいたしました。

この再開発事業は平成22年に事業を開始し、平成26年度には再開発ビルA棟（スカイタウン成田）及びB棟（千葉交通駅前ビル）が完了しました。そして平成27年度には駅前広場が完了を迎え、全ての工事が完了しました。これも地権者をはじめとする関係者の皆様のご理解とご協力を得られたことによるものです。心より感謝申し上げます。

今後はこの駅前地区を中心に、市街地の更新をはじめ、駅前地区が活性化していくよう検討して参ります。

① JR成田駅東口第二種市街地再開発事業の完了について

再開発事業の仕上げである駅前広場工事が平成28年3月に竣工を迎え、JR成田駅東口第二種市街地再開発事業が完了しました。この事業が完了したことで、駅前広場の面積はこれまでの2倍以上となる約6800㎡へと広がり、ゆとりのある利用しやすい駅前広場となりました。既に竣工している再開発ビルへの集客も望め、今後さらに魅力ある駅前空間と、さらなる賑わいのある街を創出することが期待されております。



② JR 成田駅東口駅前広場について

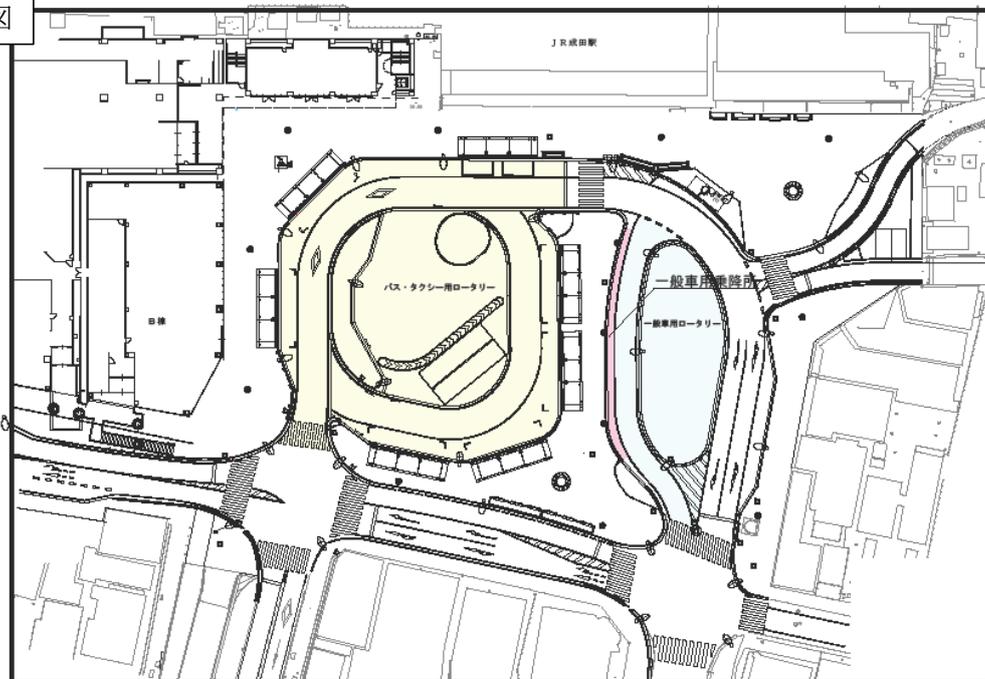
JR 成田駅東口第二種市街地再開発事業の目的は「国際都市成田の玄関口」としての「おもてなし」と「にぎわい」の創出であり、駅前広場の整備についてもこの目的を踏まえ、成田山新勝寺の最寄り駅であるとともに、国際都市の玄関口としてふさわしい、景観に配慮した空間の形成に加え、表参道並びに京成成田駅へのスムーズな歩行者動線の確保に配慮しております。

広場の構造については、本市の地域特性を考慮し、バスやタクシーを利用して駅にアクセスする交通形態と、自家用車などにより送迎してもらい電車等の公共交通機関を利用する交通形態に対応した複合型のロータリーを設け、利用する車両の混在を解消することとしております。

また、歩行者の安全に配慮した歩道、バス待ちのシェルターやベンチ、草花の植栽や多言語表示の案内板、わかりやすい絵文字を活用した表示板などを設置しました。

なお、ロータリー内道路は駐車禁止の規制がありますが、一般車のロータリーの乗降所は5台～7台の停車が可能ですが、乗降所も駐車規制区域のため、乗降待ちなどの長時間の停車はしないようお願いいたします。

駅前広場完成図



駅前広場写真



③テナント募集について

商業業務施設のテナント床につきましては、未だ半数近くが空室となっておりますが、今後も市のホームページにより募集のお知らせをまいります。

詳細は、市街地整備課にお問い合わせください。

対象建物及び対象区画の概要

<対象建物の概要>

- (1) 所在地 千葉県成田市花崎町地先
- (2) 地域・地区 商業地域・防火地域・高度利用地区
- (3) 主要概要 店舗・共同住宅・公益施設・駐車場
- (4) 敷地面積 約4,300㎡
- (5) 建築面積 約3,600㎡
- (6) 延床面積 約25,700㎡

世界に向けた「おもてなし」

■外観デザインコンセプト「表参道との連続性・一体感・融合」

日本を代表する玄関口でもある成田市。国内外を問わず多くの観光客が訪れるにふさわしい「まちづくり」を目指します。門前町の伝統と格式を継承し、景観に配慮したデザインを行います。

■「にぎわい」の創出

成田駅の「ひと」に「もの(特産物・名産品)」と「こと(歴史、文化や伝統)」にこだわり、成田山新勝寺をはじめ、地元関係者とのコミュニケーションを図りながら、門前町の活性化を促す施設づくりを目指します。

■表玄関の「おもてなし」

当駅前商業施設から表参道へ送り出すと同時に、表参道の賑わいに立ち寄りもらい、参拝の疲れを癒し、また成田の街を楽しむ第二ステージへと送り出します。



<対象区画の概要>



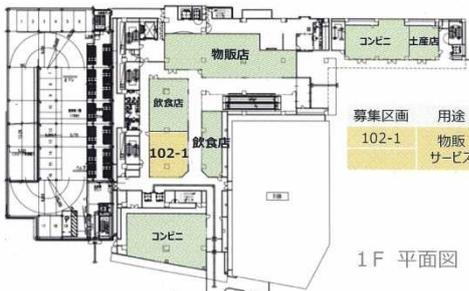
B1F 平面図

H28.6.24現在
テナント決定区画
出店業種

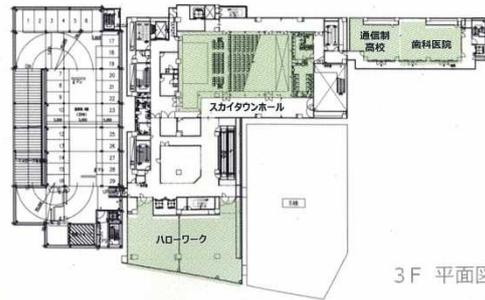
※区画面積については管理処分量のため、賃貸面積とは異なります。



2F 平面図



1F 平面図



3F 平面図